

## 2010年 F4東日本シリーズ Rd,5 吉田広樹 〈ツインリンク茂木〉

今回は普段参戦しているF4西日本シリーズとは違い、東シリーズのRd,5茂木のレースにスポット参戦させて頂くことになりました。今回の参戦に向け、自分のわがままを聞いてくださったレプリスポーツの皆様、ムーンクラフトの皆様、スポンサー様、そしてチームオーナーである服部尚貴さんや沢山のレース関係者の方々、本当にありがとうございます。今回の参戦理由として年末にこの茂木で行われる「F4日本一決定戦」に向けてのテストやマシン開発を踏まえているため、絶対に結果に繋げるという気持ちで挑みました。

### 9月3日 フリー走行 DRY

今回の参戦は自分の急なわがままから話が進んでしまったため、普段メンテナンスをしていただいているレプリスポーツの方々との予定が合わず、急遽このマシンの製作メーカーであるムーンクラフト様に見ただけのことになりました。

そして始まったレースウィーク、今回のレースが行われるツインリンク茂木はF4初参戦なうえ、東コースというのは今まで一度も走ったことがなかったことから走行開始と共に積極的に周回を重ねます。まずは持ち込みセットの確認と、初めて走るショートカットに重点をおいて走りこんでいたのですが、マシントラブルが発生。この茂木はストップ&ゴーということもあり、普段走る鈴鹿とはマシンの違う部分に負担がかかることが原因のようです。更に午後に入ってもニュートラルワイヤーや切れたり、シフトノブが折れたりトラブルが続いてしまいます。しかしメカニックの方々の迅速な作業のおかげでテストを続けることが出来ました。

### 9月4日 フリー走行 DRY


この日は昨日あまり出来なかったマシンのセットアップやムーンクラフトさんが新しく開発してくれたNEWパーツのテストを行いました。朝一のフリー走行ではトップの選手から1,3秒落ち。けれどもこのタイム差は、トップはNEWタイヤで自分はあまり程度の良くない中古タイヤ。その差を考えると前回の鈴鹿から比べてもNEWパーツの効果が確認できました。そこからも引き続きセットアップを進めます。しかし最終セッションでNEWタイヤを使い予選シミュレーションを行うとなぜか大幅にタイムダウンしてしまいました。前回の鈴鹿も同じようなことが起り、今回もチームの方と原因を探ったのですがハッキリしません。自分で気付いていないだけで、本当は自分の走り方に問題があるのかもしれないと思い、必死で考えました。そしてチームの方と考えた結論は大幅なセットアップの変更でした。予選シミュレーションではトップとのタイム差も大きかったため、攻めの姿勢でのセットチェンジ。後は予選で自分が頑張るしかありません。

### 9月5日 公式予選 2番手/13台中 DRY

昨日のテスト結果から、ぶっつけ本番で大幅なセットチェンジを行ったためこの日の予選はウウエイティングを行わず、セッション開始と共にコースイン。アタックを開始して、周回を重ねるごとにタイムを縮めていきます。そして計測4周目には昨日のタイムから1秒近くも大幅にタイムを縮めることに成功します。そして続く5周目にはこの週末ベストとなる1'23,493というタイムを刻み2番手につけます。ここでマシンのオーバーステアが強かったためピットイン。セット変更を行い再度アタックを試みたのですがタイヤのいい部分も終わっていたため、タイムアップは出来ずトップから約0,1秒落ちの2番手で公式予選を終えることとなりました。

Team Naoki

with

Laprod  
LAPROD RACING

〈NO.1〉

## 2010年 F4東日本シリーズ Rd,5 吉田広樹 〈ツインリンク茂木〉

9月5日 決勝 2位/13台中 DRY

午後に入り気温、路面温度共に上昇する中、決勝レースがスタートします。今回は予選から大幅なセットチェンジを行っていたため、予選一発のタイム差は縮まったものの、このセットで決勝ラップを走りきるには不安を覚えました。そこでメカニックさんとレースに向けセッティングを変更し、フォーメーションラップがスタート。タイヤを温めながらも予選前に行ったセット変更の影響が大きいことを実感します。

そしてシグナルレッド・消灯・スタート！！

タイミングは良かったもののホイールスピンの多く2番手キープのまま1コーナーへ。そこからトップのマシンを追うためプッシュするのですが、走り始めからオーバーステアが強く中々プレッシャーをかけることが出来ません。更には自分のペースが悪く3位の選手からプレッシャーをかけられます。走行後にわかったことですが、スタートの時からリアカウルが外れかかっており、ストレートスピードやマシンバランスに影響を与えていたことが判明しました。レース序盤は後ろからプレッシャーを受けていましたが、中盤に入り徐々に後続を引き離します。途中外れかかっていたリアカウルが飛んでしまったこと、リヤタイヤの磨耗も激しくオーバーステアが更に悪化します。今回のセットで決勝レースを走ることによって予選一発のタイムアップは間違いないのですが、決勝ラップを走りきるためにはもっとテストを行い、ベストなセッティングを見付けていかなければいけない事も実感しました。最終的にトップのマシンに追いつくことは出来ず、単独2位でレースを終えることとなりました。

今回のレースでもトップとの差をまざまざと見せ付けられました。けれども今回の大きなセットチェンジというチャレンジで一発のタイムは確実に速くなったし、今後のマシンのセットアップ面に向けての方向性も見えてきました。そうすることで一発のタイムはもちろん、決勝ラップをあげていくことも可能だと確信しました。また日本一決定戦も今回の茂木で行われることを考えると、今回の遠征は凄く大きな意味があったと思います。シリーズも残り1戦とあまり時間はありますが、

シリーズチャンピオンと日本一決定戦に向け全力で挑んでいきたいと思います。

引き続き、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹

Team Naoki

with

 Le Prix Sport

〈NO.2〉